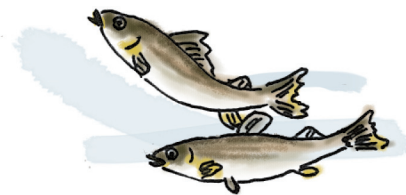


これがあるからがんばれる！

私のオフタイム

OFF TIME



今月の趣味の達人

医療法人春陽会慈恵中央病院

林 健児さん

(60歳・精神科看護師歴33年)

渓流釣り

🍀 始めたきっかけは？

近隣には長良川があり、昔から渓流釣りが盛んな地域です。もともと海釣りはやっていましたが、20歳頃に周囲の人に誘われて初めて渓流でのアユ釣りを体験し、その魅力にやみつきになりました。

🍀 活動内容・実績は？

毎年、6月第1週から10月初めくらいまでが、アユが釣れる時期。私は、アユが川の中で縄張りを持ち、縄張

り内に入ってきた別のアユを追い出そうとする習性を利用して釣り針に引っかける「友釣り」という釣法で長年やっています。今はそれほどはありませんが、ピーク時は1日60匹ほど釣れたこともありました。病院内にも同じように渓流釣りをする人が何人かいますが、プロ並みの腕前の方もいます。

🍀 醍醐味は？

エサで釣るのとは違ってアユの動きを予測しながら仕掛ける友釣りは、まさに的確な状況判断がものをいう奥深いものです。よく釣れるポイントを探るには、川の状況、気候、天候など様々な条件が絡み合います。「ここでかかるはずだ」とポイントを決め、「いまか、いまか」と期待を募らせ、ついにかけた感触を指先に得たとき

の爽快感は言葉では表現できません。釣れたアユをさばいて、串にさし、炭火で塩焼きにしたときのうまさも格別です。

🍀 仕事への影響は？

豊かな自然のなかで一人、渓流釣りを楽しむ時間は、完全なプライベート。誰にもじゃまされることなく、自分のペースで釣りをすることで、とてもいいリフレッシュになります。忙しいときも「明日は釣りにいけるぞ」と思えば、がんばれます。また、釣りは「待ち」の時間も多く、精神科看護にも通じる「受け身のあり方」を体得できている気がします。

🍀 あなたにとって 渓流釣りとは？

生きがいです。

あなたの自慢の趣味を大募集！

このコーナーにご登場いただける「趣味自慢」の方を募集しています。所属、お名前、年齢、連絡先、趣味の内容をできるだけ具体的にご記入のうえ、nursingstar@m-s-com.com まで投稿をお待ちしています。

上質な暮らしは、上質な眠りから

東洋羽毛マンスリーレター



アール・ブリュット作品を染めた羽毛ふとんの「みるね」が新聞で紹介されました！

6月に広島にて開催された第39回日本精神科看護学術集會でお披露目となりました、アール・ブリュット・羽毛ふとん「みるね」。眠りとケアとアートのかかわりから生まれた世界で初めての試みについて各方面からご注目をいただいております。作者の松本寛庸さんの地元・熊本県の新聞社、熊本日日新聞には、「快眠誘う芸術の布団」というタイトルで写真付きでの紹介記事を掲載いただきました(6月24日)。50組限定、150×210センチです。詳細は東洋羽毛0120-410840までお問い合わせください。

